

家事する夫、家事しない子供

東京ガス都市生活研究所では、1990年から3年ごとに「生活定点観測調査」を実施しています。この中から、「30-40代ファミリー※」の約20年間の変化を捉えました。子育て期である30-40代ファミリーの、家事の実態・意識の変化をご紹介します。

※ 既婚かつ子供のいる30-40代男女を指します。



夫の家事参加が増加し、主に担当する夫も増えている

料理、片付け、掃除、家計管理のすべてで夫の家事参加が増加

図1は、「夫は家事をどれくらいしますか」という質問に対する、30-40代ファミリー女性の回答です。料理、片付け、掃除、家計管理のすべての家事で、1993年に比べて夫の家事参加が増加していることがわかります。また、風呂掃除や家計管理では「主に担当」する夫が約15%になっています。

このように夫の家事参加が進んでいるのは、共働き化が進んだからだけではなく、専業主婦家庭でも同様であることは、都市生活ミニレポート「専業主婦の変化」（2016年10月発行）で示しています。

この変化の背景には、男女平等意識の広がりから、家事は性別にかかわらず行うもの、と考える人が若年層を中心に多くなっていることが考えられます。

図1. 夫は家事をどれくらいしますか<30-40代女性>

